6 個の玉が入っている箱が1 つある. 以下の操作を n 回繰り返した後に箱に入っている玉の個数を a_n とする.

操作:箱から2個の玉を取り出す。その後、箱に残っている玉の個数と同じ個数の玉を新たに箱へ入れる。

以下の問いに答えよ.

- (1) a₁ を求めよ.
- (2) a_{n+1} と a_n の関係式を求めよ.
- (3) a_n を n の式で表せ.
- (4) a_n が初めて 1000 より大きくなる n の値を求めよ.
- (5) 数列 $\{b_n\}$ を $b_n=\frac{n}{2^n}$ $(n=1,\ 2,\ 3,\ \cdots)$ により定めるとき, $\lim_{n\to\infty}b_n=0$ を証明せよ.必要ならば,自然数 n に対して $2^n=\sum\limits_{k=0}^n{}_n{\rm C}_k$ が成り立つことを用いてよい.
- (6) 極限 $\lim_{n\to\infty} \frac{a_1+a_2+a_3+\cdots+a_n}{2^n}$ を求めよ.

(24 豊橋技科大 1)

【答】

- (1) 8
- (2) $a_{n+1} = 2a_n 4$
- (3) $a_n = 4 + 2^{n+1}$
- $(4) \ n = 9$
- (5) 略
- (6) 4

【解答】

(1) a1 は操作を1回行った後に箱に入っている玉の個数であるから

$$a_1 = (6-2) + (6-2) = 8$$
(\(\frac{\delta}{2}\))

である.

(2) a_{n+1} は操作を n 回行った後に箱に入っている玉の個数であるから

$$a_{n+1} = (a_n - 2) + (a_n - 2) = 2a_n - 4$$

∴ $a_{n+1} = 2a_n - 4$ ······ ① ······(答)

である.

(3) ① は

$$a_{n+1} - 4 = 2(a_n - 4)$$

と変形される. 数列 $\{a_n-4\}$ は初項 $a_1-4=8-4=4$ (∵ (1)), 公比 2 の等比数列であるから

$$a_n - 4 = 4 \cdot 2^{n-1}$$

∴ $a_n = 4 + 2^{n+1}$ ······(答)

である.

(4) $\{a_n\}$ は単調増加な数列であるから, a_n が初めて 1000 より大きくなる n は $a_n > 1000$ を満たす最小な n である.

$$4 + 2^{n+1} > 1000$$
$$2^n > \frac{1000 - 4}{2} = 498$$

 $2^8 = 256$. $2^9 = 512$ であるから、求める n の値は

$$n=9$$
 ·····(答)

である.

 $n \to \infty$ より $n \ge 2$ としてよいから

$$0 < \frac{n}{2^n} < \frac{2}{n-1} \underset{(n \to \infty)}{\longrightarrow} 0$$

はさみうちの原理より

$$\lim_{n \to \infty} \frac{n}{2^n} = 0$$
 …… (証明終わり)

である.

(6) (3) より

$$a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_n$$

$$= \sum_{k=1}^{n} (4 + 2^{k+1}) = 4n + \frac{4(2^n - 1)}{2 - 1} = 4n + 4(2^n - 1)$$

であるから

$$\lim_{n \to \infty} \frac{a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_n}{2^n}$$

$$= \lim_{n \to \infty} \frac{4n + 4(2^n - 1)}{2^n}$$

$$= \lim_{n \to \infty} \left\{ 4 \cdot \frac{n}{2^n} + 4\left(1 - \frac{1}{2^n}\right) \right\}$$

$$= 4$$
.....(\(\frac{\pi}{2}\))

である.